

花いっぱい計画



- 1 身の回りにある花を見に行こう!
- 2 花を町や学校に広めよう!
- 3 自分たちで育てよう!
- 4 花のお世話をしよう!
- 5 よせ植えをしよう!
- 6 花をとどけよう!
- 7 最後までお世話しよう!

わたしは、この勉強を始める前の時は花のことなんて、ほとんど知りませんでした。でも、この勉強を始めて、花はとても美しいなあと思いました。これからもずっとずっと、花があると見てしまいます。特に、百日草やマリーゴールド、ペチュニアなどを見たら、10分くらい見てしまうかもしれません。



年 組 名 前

1 身の回りにある花を見に行こう!

みなさんの身の回りには、どんなたてもものや場所がありますか?
学校の中、町の中をよく見てみましょう。そこに花がさいていませんか?



学校の中の花さがし

さがした花をかいておこう



「花はっけんカード」

月 日 天気

見つけた場所

花の名前



町の中の花さがし



校庭での花さがし

どうして、学校や町の中にお花が植えられているのでしょうか?

2 花を町や学校に広めよう!

町や学校が花いっぱいだったら、町や学校の人たちはどんな気持ちになりますか?

自分たちなりの答えを書いてみよう。



花のないところもありますね。
どうしたいですか?



たくさんの人に花を見てもらえば、
町がえがおでいっぱいになるね。

3 自分たちで育てよう!

今からのきせつにはどんな花がてきしているのでしょうか?
くわしい人や身近なおとなの人に聞いてみたり、ずかんで調べたりしてみよう。



花にくわしい人は、どんな人かな?
お花屋さんや農家の人…



図書室には、たくさんのずかんがあるよ。

何のたねかな?



マリーゴールド



アサガオ



コスモス



ヒマワリ



ナスタチューム



花を育てるのにひつような物はなにか?
育て方を花のくわしい人に聞いて教わろう。近くにそんな人はいないかな?



4 花のお世話をしよう!

育てている花は元気よく大きくなっていますか?
こまったことや、わからないことはありませんか?

なかなか^め芽が出ないぞ…。

葉っぱが白くなってきている。
病気かもしれない…。

これ以上大きくなったら
なんかきゅうくつそうだな。

私ばかりお世話をしている、
やってくれない人がいる…。

こまっていることをかいてみよう

みんなのこまっている
ことを出し合ったら、ど
うやって解決できそうか
話しあって実行しよう。



5 よせ植えをしよう!

花をいくつかまとめてよせ植えをつくろう。

よういする物



■花の苗(2~3ポット) ■コンテナ(鉢) ■はちぞこ石 ■ひりょう ■土(ばいようど)



■ぐんて ■シャベル ■ネット

※コンテナのあなから土が出ないようにネットをいれます。

季節の花を用意して、よせ植えをつくっていこう。



上:ピオラ
下左:シロタエギク
下右:ワイルドストロベリー



①コンテナの中に、はちぞこ石を2cmぐらい入れます。



②コンテナの中に土を半分ぐらい入れたら、どこに花を植えるか決めていきます。



③植える場所がきまったら苗の間に、土をいれていきます。



④ひりょうを花の根もとにあげましょう。



⑤すき間がないようにしっかりと土を入れたら完成です。水をジョウロでたっぷりあげます。
※下から水が出るぐらいあげましょう。



完成したよせ植え

ワンポイントアドバイス

〈ポット苗のぬき方〉
しっかりと苗をもってさかさまにします。片方の手で、プラスチックのポットをぬきます。



苗はやさしく持ちましよう。



ポットがとれないときは穴を少しおして苗を出しましょう。



6 花をとどけよう!

花をとどける先に、電話でれんらくをしよう。



お花で町をいっぱいにしたいので、私たちが育てたお花をとどけたいのですが…。

ポスターを書いて、ぼくたちの気持ちをわかってもらおう。



ゆうびんきょくへ、コンビニへ、駅へ、育てた花のプランターをとどけよう。

いざ!



出発!!



7 最後までお世話をしよう!

町や校内にとどけた花は、期間を決めてきちんと回しゅうしましょう。
集めた花は、花だんに植えかえて、最後まできちんとお世話をします。

①花だんに、フヨウ土・せっかい・ひりょうをよくまぜておきます。
(植える1週間以上前)

②集めた花は、かれた葉や終わった花をきれいにとりのぞきます。



③花を植えていきます。



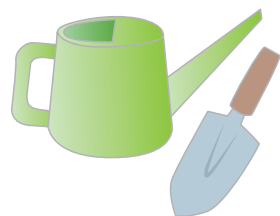
④終わったらたっぷり水をあげます。



〈花だんには、たくさんのお花がさきました〉



お花さんありがとう。



花育副読本 指導案 対象学年 小学3,4年生用

花いっぱい計画 (25時間)

【総合的な学習の時間の学習課題】
地域や学校の特色に応じた課題「町づくり」

1.目標：自分たちで育てた植物で地域の緑化を進める活動を通して、植物栽培への関心を高めるとともに、地域の人々が花を通して交流するよさに気づき、地域への愛着を高める。

2.展開

〈 〉観点

児童の活動・発問	教師の支援(留意点)	評価・探求のポイント
1 身の回りにお花を見に行こう 〈副読本P2〉		
<ul style="list-style-type: none"> 学校にはたくさんのお花があるね。家の周りにもあるよ。 行ってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科の学区めぐりの学習と連携して合科的に指導する。 	<p>課題設定</p> <p>情報収集</p>
どうして、学校や町の中にはお花が植えられているのだろうか？		
2 花を町や学校に広めよう 〈副読本P3〉		
<ul style="list-style-type: none"> お花をみると、みんなが笑顔になれるからじゃないかな。でも、お花のないところもあったよ。 たくさんのお花を見たら、町が笑顔でいっぱいになるね。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵地図などを作成して花が町にある意味についてクラス全体で考えられるようにする。 花を町に届けたいという意欲が出るように「ここに花があったら、どんな気持ちになりますか」と自分事になるように問いかける。 	<p>整理分析</p> <p>まとめ表現</p> <p>課題設定</p> <p>〈課題設定力〉 花のない場所を具体的に上げ、そこへ花を届けたいという意欲が見られる。</p>
3 自分たちで育てよう 〈副読本P4〉		
<ul style="list-style-type: none"> 今からの季節にはどんな花が適しているのかを調べる。町のお花屋さんへ聞きに行こう。 調べてわかったことを、クラスのみんなに伝えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの既習経験などを生かしながら、自分の力で情報を集められるように今までの学習資料や、使ってきた図鑑を示したり、校庭の各季節の花だんの様子の写真などが使えることを示唆する。 	<p>情報収集</p> <p>〈情報収集力〉 自分で考えた方法で、季節に合った花を調べている。</p> <p>整理分析</p> <p>まとめ表現</p> <p>情報を活用して花を育てる計画や活動ができている。</p>
4 花のお世話をしよう 〈副読本P5〉		
<ul style="list-style-type: none"> ■花の育て方で、困っていることや分からないことを解決する。 ・なかなか芽が出ない ・病気かもしれないよ ・花に詳しい人に聞いてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの困っていることを出し合い、どうやって解決できそうかを話し合っ、実行できるようにする <p>外部アドバイザーの招聘</p>	<p>課題設定</p> <p>〈課題設定力〉 困っていることをワークシートに記述している。</p> <p>情報収集</p>

「つかむ」学習段階

「追究する」学習段階

5 寄せ植えをしよう 〈副読本P6・P7〉

- 寄せ植えをして、花を届ける準備をする。
- ・きれいなプランターでないと笑顔になれないね。
- ・持っていき先へお願いをして、おかないといけないよ。
- ・ポスターをかいて僕たちの思いや願いを知ってもらおう。

- ・外部アドバイザーの指導のもと、寄せ植えを行う場を設定する。児童が持っていくのに適した大きさや高さに配慮する。
- ・お花を届ける先にはお願いをして、子ども自身が手配できるようにする。

6 花をとどけよう 〈副読本P7〉

- 自分たちの花を町に届ける。
- ・喜んでもらえてうれしい。
- ・自分たちの花が元気か気になるね。

- ・安全に留意して、保護者などに引率をお願いする。達成感もてるように、届け先と連携を密にしておく。
- ・届け先には、水やりなどのお願いを事前にしておく。

7 最後までお世話しよう 〈副読本P8〉

- 町に出ていたお花を回収して、学校の花壇に植えかえる。
- ・お花さん、ありがとう
- ・町がとってもきれいだった。うれしいな。
- ・最後まで育てよう

- ・一定期間で花を回収に行くようにする。安全のため、保護者などの引率をお願いする。

整理分析

〈整理・分析・表現力〉
ポスターや、依頼文などに、自分たちの思いや、願いなどを書いている。

まとめ表現

〈生かす力〉
花を町に届けて、笑顔を増やすことができたことに対して達成感や成就感、自己肯定感などを感じている。(感想文、ポスター、依頼文から読み取る)

「広げる・生かす」学習段階

指導に当たって

事前に行っておくこと

- ・花の種や苗、土、肥料など必要物品をそろえておくこと。
- ・種から栽培する場合は、開花までの時期を考慮して種まきを終えておくこと。
- ・社会科や国語の学習と連携をして、指導計画を立てること。

実施時期

- ・1学期に行う場合は春夏の花を育てて行う。その際、4月中には種まきをして、夏休み前までに行なう。届け先との連携が取れれば、夏休み中に児童が水やりをするなどして9月まで実施することも可能。ただし、安全面には十分な留意が必要。
- ・2学期に行う場合は、秋冬の花を育てて行う。その際、3学期までを見越して、冬休みも継続して行う。届け先との連携が取れれば、冬休み中に児童が水やりをするなどして継続することも可能であるが、安全面の留意から一度学校に引きもどしたり、家庭に持ち帰らせたりすることも考えられる。また、冬休み明けに花を届ける活動を行う指導計画も考えられる。

花の種類

- ・1学期実施の場合：マリーゴールド、ニチニチソウ、ヒヤクニチソウ、ペチュニア、コリウスなど、丈夫で背丈があまり高くないものが適している。
- ・2学期実施の場合：パンジー、ビオラ、ノースポールなど、冬の寒い時期でも育つ丈夫な花が適している。

3年・4年のちがい

特に違いはありません。3年生の1学期に行う場合は、はじめての総合的な学習の時間として、オリエンテーションを交えて丁寧に指導します。4年生の2学期に行う場合は、発達段階に配慮して、性差に関わらず興味を持って活動を継続できるように工夫をする。

その他

- ・実施時期や気候、地域や児童の実態に応じて種から育てるか、苗から育てるかの選択が必要である。苗から育てる場合は、育てやすく、開花までの時間もかからないが、費用がかかる上に、花への愛着が薄まる傾向にある。一方、種から育てる場合は、開花までの時間がかかり、育てにくい面がありますが、その分、花への愛着は高まる。
- ・地域協力者や外部アドバイザーなど、花に詳しいゲストティーチャーの確保が必要。
- ・外部アドバイザー(花育アドバイザー)についてのお問い合わせ先
全国花育活動推進協議会 ウェブサイト：<http://www.hanaiku.gr.jp>